



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月13日

上場会社名 ワシントンホテル株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 4691 URL <https://www.washingtonhotel.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内田 和男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長 (氏名) 森 良一 (TEL) 052(745)9036
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	652	△88.1	△2,188	—	△2,208	—	△1,588	—
2020年3月期第1四半期	5,506	—	801	—	787	—	505	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △1,582百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 503百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△130.59	—
2020年3月期第1四半期	50.07	—

(注) 2020年3月期第1四半期連結会計期間より、四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期第1四半期の前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	28,856	12,607	43.7
2020年3月期	26,684	14,445	54.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 12,607百万円 2020年3月期 14,445百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	21.00	21.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現時点において合理的に算定することが困難なことから未定としております。今後、合理的に予想可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は【添付資料】8ページ「2 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期1Q	12,170,000株	2020年3月期	12,170,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年3月期1Q	4,850株	2020年3月期	4,850株
------------	--------	----------	--------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年3月期1Q	12,165,150株	2020年3月期1Q	10,095,150株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、決算短信添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 事業環境及び当社業績について

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言発令を機に、休業及び外出自粛要請が本格化し、企業の景況感悪化とともに、旅行、外食等のサービス消費の急減を招き、非常に厳しい状況が続きました。また、当該宣言解除後も、経済活動の回復に向けた動きはあるものの、将来の見通しについては極めて不透明な状況が続いております。

ホテル業界におきましては、国内のサービス消費の落ち込みに加え、インバウンドにおいても、世界的に旅行需要が停滞する中、日本政府観光局(JNTO)による6月の訪日外国人旅行者数は、3か月連続で前年同月比99.9%減となる等、回復の糸口は見えておりません。

このような環境下、当社グループの宿泊・飲食部門ともに、需要の激減による影響を大きく受けることとなりました。

また、それに伴う感染リスクと損失拡大の回避を目的に、4月17日以降5月末まで順次、計13ホテルの営業を臨時休業したこともあり、当社グループにおける当第1四半期連結累計期間の客室販売状況は、客室稼働率が10.4%(前年同期比68.2ポイント減)となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高652百万円(前年同期比88.1%減)、営業損失2,188百万円(前年同期は801百万円の利益)、経常損失2,208百万円(前年同期は787百万円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失1,588百万円(前年同期は505百万円の利益)となりました。なお、臨時休館に伴い13ホテルで発生しました固定費(人件費、家賃、管理料、減価償却費)188百万円を特別損失に計上し、売上減少により休業した従業員に対する雇用調整助成金205百万円を特別利益に計上いたしました。

なお、当社はホテル事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

② 財務基盤の安定化について

財務基盤のより一層の安定を図るため、4月に取引金融機関と総額30億円のコミットメントライン契約を締結したほか、当座貸越契約で30億円、制度融資で1億円、計61億円を契約しており、今後も状況に応じて借入枠の拡大を行ってまいります。

③ 業績の早期回復に向けて

当社グループでは、あらたな需要獲得のため、4月から客室をテレワークなどのデイユース向けに販売する「テレワーク応援プラン」の販売を順次開始しているほか、7月からはR&Bホテルのロビーラウンジスペースをシェアワークスペースとして貸し出しを開始いたしました。

加えて、お客様の利便性やお得感を向上させるリピート促進策として、4月から当社最大の販売チャネルである「宿泊ネット」のポイント還元率を5%から7%に引き上げ、ホテル業界初となるPayPayギフトカードとのポイント交換を可能とし集客に努めております。さらに、8月からはインターネット販売強化を目的に、藤田観光株式会社と、それぞれの宿泊予約サイトを相互利用可能にする協力関係を開始いたしました。まずは当社予約サイト「宿泊ネット」にて藤田観光の22施設を予約ができるようにし、宿泊ネット会員の利便性を高めてまいります。(藤田観光の宿泊サイトから当社の施設が予約できるようになるのは来年の予定です)

また、観光宿泊の復興支援を目的とした各自治体のキャンペーン、政府のGoToキャンペーンにも積極的に参画し集客に努めてまいります。

なお、当社グループは、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を引き続き徹底し、お客様と従業員の安全を守り、安心・安全なホテル運営を行ってまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,171百万円増加の28,856百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,530百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は前連結会計年度末に比べ4,009百万円増加の16,248百万円となりました。これは主に未払金が16百万円、その他流動負債が83百万円、買掛金が89百万円減少した一方、短期借

入金が3,750百万円、長期借入金が422百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,838百万円減少の12,607百万円となりました。これは利益剰余金が1,844百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今期業績につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による実体経済への影響等先行き不透明な状態が続いており、現段階において業績予想を合理的に算定することが困難であることから未定としております。業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,177,461	4,707,901
売掛金	289,231	149,791
原材料及び貯蔵品	42,951	35,314
その他	532,222	823,356
流動資産合計	4,041,866	5,716,364
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,623,804	8,560,066
土地	5,564,875	5,564,875
リース資産(純額)	1,707,170	1,691,360
建設仮勘定	1,056,268	1,062,121
その他(純額)	361,010	335,207
有形固定資産合計	17,313,128	17,213,630
無形固定資産		
ソフトウェア	147,235	136,260
その他	37,975	35,353
無形固定資産合計	185,210	171,613
投資その他の資産		
投資有価証券	165,056	170,037
繰延税金資産	13,147	625,907
差入保証金	4,888,849	4,882,868
長期貸付金	900	810
その他	96,207	94,611
貸倒引当金	△19,650	△19,650
投資その他の資産合計	5,144,510	5,754,584
固定資産合計	22,642,850	23,139,827
資産合計	26,684,717	28,856,192

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	132,856	43,696
短期借入金	—	3,750,000
1年内返済予定の長期借入金	1,017,756	1,043,692
リース債務	41,072	41,466
未払金	736,058	719,234
未払法人税等	17,157	34,708
賞与引当金	136,488	184,095
役員賞与引当金	8,000	—
ポイント引当金	146,267	147,381
関係会社整理損失引当金	40,252	40,252
その他	416,595	333,116
流動負債合計	2,692,505	6,337,644
固定負債		
長期借入金	6,619,825	7,042,618
リース債務	2,020,061	2,009,544
繰延税金負債	865	865
再評価に係る繰延税金負債	375	375
未使用商品券等引当金	22,136	22,136
役員退職慰労引当金	50,940	—
資産除去債務	432,686	433,131
その他	399,554	402,350
固定負債合計	9,546,443	9,911,021
負債合計	12,238,948	16,248,665
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,349,161	1,349,161
資本剰余金	5,922,713	5,922,713
利益剰余金	8,174,521	6,330,453
自己株式	△1,293	△1,293
株主資本合計	15,445,102	13,601,034
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△43,677	△38,673
繰延ヘッジ損益	△10,250	△9,428
土地再評価差額金	△945,405	△945,405
その他の包括利益累計額合計	△999,333	△993,507
純資産合計	14,445,768	12,607,526
負債純資産合計	26,684,717	28,856,192

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	5,506,802	652,895
売上原価	4,463,128	2,641,633
売上総利益又は売上総損失(△)	1,043,674	△1,988,737
販売費及び一般管理費	241,902	199,445
営業利益又は営業損失(△)	801,772	△2,188,182
営業外収益		
受取手数料	2,331	2,227
受取保険料	3,497	19,970
受取賠償金	4,000	—
その他	2,507	13,201
営業外収益合計	12,335	35,398
営業外費用		
支払利息	25,276	35,743
支払手数料	1,000	15,712
その他	39	4,133
営業外費用合計	26,315	55,589
経常利益又は経常損失(△)	787,792	△2,208,374
特別利益		
雇用調整助成金	—	205,109
特別利益合計	—	205,109
特別損失		
固定資産除却損	784	19
コロナ感染症臨時休業損失	—	188,448
特別損失合計	784	188,468
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	787,008	△2,191,733
法人税等	281,576	△603,133
四半期純利益又は四半期純損失(△)	505,431	△1,588,600
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	505,431	△1,588,600

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	505,431	△1,588,600
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,074	5,004
繰延ヘッジ損益	△606	821
その他の包括利益合計	△1,680	5,826
四半期包括利益	503,751	△1,582,773
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	503,751	△1,582,773

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、重要な個別項目を調整した上で、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

当社グループでは、新型コロナウイルス感染症による影響が今後2021年3月期の一定期間にわたり継続するとの仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性等に関する会計上の見積りを行っております。

なお、前連結会計年度末時点の仮定から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、ホテル事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。